

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人全体で『利用者の立場に立った保健福祉サービス、地域に対する専門技術の提供』の基本方針を基礎として、その人らしく地域と共に安心して暮らせるよう理念を掲げている。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「基本方針」「運営理念」は全職員に配布しており、朝礼時に唱和、または、申し送り時に確認している。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族には毎月ホームの便りでホームの方針、計画をお伝えし、状況報告書を通して、利用者様の生活をお伝えしています。また、川辺町エリア全体で「ひなたぼっこ」(機関紙年間4回)を公共施設、医療機関等の窓口等に配布し、地域の皆様に事業所の現状、福祉に対するご理解をいただけるよう努めています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者様と散歩や近隣のスーパーに買い物に出たとき、或いは郷土行事への積極的な参加など、隣人との会話や関わりにより心がけ、また、知人からのご挨拶を通して日常会話となっていると考えています。また、ボランティア様へはボランティア以外の訪問もお誘いしています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ボランティア事業を通して、知り合いになった方、隣人からは、切花や鶏の餌をいただいたりしています。また、近隣の酒造メーカーの蔵出しや町の文化祭に参加しています。町営の福祉施設「やすらぎの家」へ出かけてると、知人、友人との出会いがある為、月1回は出掛けようと努めています。	○ 社会福祉協議会を通して、老人会、自治会とも繋がりがもてるよう参加できることから、参加させていただけるよう考えていきます。

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>『にこにこサロン』として、ボランティア、隣人、学童を対象に利用者様と、郷土料理の試食会、繭人形作りなどを開催。また、エリア内の各職員が「出張講座」等の企画にも協力できる体制は整っている。</p>	○	<p>認知症に限らず、介護に対する相談や施設の見学も現状以上に充実していきたい。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>自己評価の作成に当たり、各職員が自己を見つめ直す機会としている。外部評価の評価結果も真摯に捉え、改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>委員の方にはホームでの様子を観察していただき、其の都度、会議の中で意見を求めている。またできる限り、情報を公開(重要事項説明書、契約書、運営規程、事故報告書、ヒヤリハットに関する統計、内容説明)、ボランティアの依頼等こちらからも情報の収集に心がけている。</p>		
9	<p>川辺町包括支援センターは川辺町役場内にあり、町職員でもある。利用者様の入退所の連絡、入院、重大な事故が発生した場合には連絡を取っている。</p>		
10	<p>管理者は、岐阜県が主催の認知症講座、介護支援専門員研修、他の2名の職員は認知症実践者研修で研修を受けている。現在、地域権利擁護事業、成年後見人制度を活用される対象のご利用者居られない。</p>	○	<p>本年度も、認知症実践者研修に1名研修を受ける予定である。また、法人内外にて研修機会を設け、知識向上に努めたい。</p>
11	<p>法人内の新人・中堅研修、川辺エリア内での学習会、または、認知症実践者研修等で虐待防止や身体拘束廃止の研修を行い、職員に周知している。</p>	○	<p>現在使用のマニュアルを更に深め、理解と介護の制度を高めたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	「契約書」「重要事項説明書」の取り交わしについては、事前面接、更に、入所時にも十分に説明の時間を設けている。ご利用者、ご家族には、ご家庭で十分考察していた上で、ご理解、ご納得をいただいでから実施している。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様からの意見、不満、苦情については、「苦情受付簿」を早急に作成し、エリア長へ報告。同時に朝の申し送りや回覧にて職員に、周知、情報の共有を図り改善に努めている。更に、エリア会議で、他の事業所との情報の共有、苦情に対する対応、解決方法等話合っている。	○	今後、更に苦情受付簿を有効活用し、ご利用者のニーズ把握とサービス向上に努めたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面接時や月に一度のホームたよりで月間行事、職員の異動報告、ご利用者の暮らし、健康状況は利用者報告書で毎月報告、健康状態に急変があれば、ご家族に電話連絡している。金銭管理はご家族了解の下、自己管理、自己管理できない方は金銭出納帳に記録をのこし、現金は特別養護老人ホームの事務所金庫で保管している。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	フロア掲示板に不服申し立て事業等の掲示。重要事項説明書に明記。家族等からの意見、不満、苦情に関しては苦情受付簿において職員、上司に報告、対応に当たっている。職員間での情報の共有は朝の申し送りや連絡帳の記載、また、業務日誌、個別ケース記録に記載している。必要に応じて、職員会議で討議しています。	○	今後、更に苦情受付簿を有効活用し、ご利用者のニーズ把握とサービス向上に努めたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回、職員会議を開催、職員からの意見や提案をホーム運営に活かしている。また、普段職員からの提案を受け入れたり、管理者の独断による決定事項は避けるように努めている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	カンファレンス（ケアプラン担当者会議）出席のおり、ご家族様の希望日時に配慮し、なるべく希望に沿うよう勤務体制を整えている。家族への連絡はご家族様の状況に合わせて、時間帯を考慮し対応している。		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	法人及び関係法人内の職員交換研修を検討中。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	○	各職員の「近況報告」記載や「行事企画」への職員の自主性を重視し、日々の業務から喜びや達成感を感じる機会をつくる。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用に当たっては担当のケアマネジャーからの情報を基に、直接ご本人・ご家族からの心身状況、生活史、時代背景、家族構成、家族歴、趣味、性格等可能な限り、情報収集に努めている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人からいただいた情報確認やご家族様にしかわからない利用者様の性格、家系、生活史、環境、病歴、主治医、認知症の状況等できる限り丁寧に伺いアセスメントへ反映している。特に身体状況・ご家族の思いについては問い直すようにしている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	常にご利用者・ご家族様の立場に立ち、近況の把握と傾聴等より「その時」のニーズを見極め、何が今一番必要か、ご利用者・ご家族に方向性が見出せるようご助言しています。選択に当たっては、それぞれのメリット・デメリットの提示を心がけている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者が入居者となる前に在宅支援センターのケアマネジャーと家庭訪問、ご家族の意向、ご利用者の生活歴、家族歴、環境等情報を収集するなど、必要に応じて実施、顔馴染みの職員を作ること狙いとする。また、ホームへの事前訪問や希望があれば、体験入所をご利用いただき、馴染みの関係を深める試みをしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員はご利用者の生活歴や心身の現状を観察し、ともに掃除や洗濯干しや取入れを行ったり、その他、買い物、水まき、草取り、野菜の取り入れなどの役割を持っていただき、ご自身のやりがいの発見を心がけている。	

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の日ごろの面会はもちろん、ご利用者の外出・外泊に制限はつくらず、緊急時以外の受診対応の調整や、家族会参加の案内、衣替え、行事参加など、「近況報告」を利用するなどして、日常的にふれあう機会による情緒支援促しを適宜実施している。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	サービスの開始がご利用者とご家族の関係を希薄なものにすることを無い様「近況報告」の有効利用を中心にご家族との連携強化を常に意識した連絡調整を心がけている。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ケアハウス出身者にはケアハウスでの喫茶参加にお誘いしたり、町内のスーパーへの買い物、福祉施設「やすらぎの家」、自宅近くの友人宅に出掛けるなどして、知人、友人との交流に心がけている。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が配慮していますが、ご利用者の中には、体調不良の他のご利用者への心づかいがあったり、気持ちの落ち着かないご利用者へ、優しく言葉掛けをして下さったり、また、散歩の際、積極的に手を繋いでいただいたり、支え合いの光景がよくみられる。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院が長期化し退所に至るケースの割合が多いが病院のソーシャルワーカーとの連絡調整はもちろん、法人「サービスセンター」に早急に情報提供し退所後困らないよう担当ケアマネジャーを調整するなどの支援をしている。また、必要に応じて情緒安定を目的とした退所先への面会を実施している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常、ご利用者個々に行事参加、食事への希望を伺い、できる範囲で実現している。また、ご家族の意向を電話やケアカンファレンスや面会の際聞き取り、その方の状況とご希望にあわせて対応している。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者ご本人との会話を中心に、家族や面会の知人等から、情報の把握に努めている。中には独居の期間が長く、入居の際、把握が難しいご利用者も居られるが、ときどきに対応して、出来る限りの把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日ごろの観察より、普段との違いへの気付きに努める。こと基本とし、加齢に伴う体調変化に留意する。必要に応じて、バイタルチェック、食事や排泄状況を記録に残し、朝夕の申し送りを通して、ご利用者の情報の共有に努め、対応の統一確認をしている。小さな変化にも対応できるよう心がけている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の参加を第一に考え、ご家族の希望日時に合わせ、カンファレンス開催、事前に必要に応じて専門職〔医師、歯科医師、管理栄養士、社会福祉士、保健師、在宅のケアマネジャー、介護長（看護師）〕の意見収集等を図っている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に囚われず、心身の変化が認められた場合は適宜職員間でカンファレンスを開催し計画の見直しをしている。ご家族参加を基本とし、ご家族の希望日で日時を調整し参加いただいている。参加できない場合、身心状況の説明を電話連絡し計画変更の了解を得ている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、ケアプランに沿って、ケースに記録を残し、モニタリング、評価表を通して実践結果を評価し、次のケアプランに活かす努力をしている。また、日々の体調変化、状況は看護・介護ケースに記録を残し、職員の情報の共有、必要に応じてご家族に情報を電話している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	総合老人福祉施設の機能を生かし、ハード面の共有はもちろん、日昼のデイサービスのレク参加・特別養護老人ホームの夜間対応・介護支援専門員からの福祉用具選定指導等、また、関連医療法人（急性期総合病院、精神科病院）との連携を適宜調整している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	川辺町福祉施設「やすらぎの家」の訪問、多数のボランティアの受け入れ、川辺町主催の文化祭見学、地元酒造メーカーの初蔵出し見学、消防署指導の火災訓練に年2回参加等、小学校・保育園との交流、地域交流に努めている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	隣接の特別養護老人ホーム、デイサービスのレクリエーション活動、夏祭りを始め多数の行事に参加している。また、在宅支援センターのケアマネジャーには入退所時の相談、ご家族の了解のもと、福祉用具等の利用対応を相談している。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	初回面談（インテーク）前に個人情報の確認や家族の意向の確認、体調変動に伴う入退院、入退所情報など、連絡を取っている。		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ホームから他の事業所に移り住む際には、直前までの介護・看護記録等の情報提供している。入院に関しては、直前の体調変化の記録やケース記録、薬剤情報等の情報提供している。また、情緒安定のため、必要に応じて、住み替え先の面接等を協力している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	法人「個人情報管理規定」にそった説明を実施、同意の場合ご家族より同意書に署名、捺印をいただく。これにより、果たすべき義務として情報管理には十分配慮している。また、介護援助の際は敬語での対応、他のご利用者に気兼ねしないですむ排泄や入浴の実践等、各種個人情報の管理に努めている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者の個別介護、残存機能の維持、発見に努め、ご本人の意思確認を常に念頭におき介護に当たっている。個人の状態に合わせ質問方法を考慮し、出来る限り希望に沿った日常生活の実現のための支援を心掛けている。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者には行動に移る前に本人に選択、意思確認し、ご利用者の身体状況にあわせて対応している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容に関しては、ご本人、ご家族の自由ご希望に沿っている。移動理美容を利用しているご利用者には理容師が直接希望を確認、ご本人の選択にお任せしている。普段の整容には職員が配慮、支援している。		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>献立が今以上に、ご利用者の嗜好を反映できるように努めていきたい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>ご本人の生活歴等から、家事や園芸等以外の趣味や得意な事を生かせる場面をつくれるよう努めていきたい。</p>

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理は、2名の方が自己管理している。その他の方は特別養護老人ホームの事務所の金庫で保管、お買い物、外食の際などを利用して、ほしいものを購入していただいている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や季節に配慮しながら、ほぼ毎日散歩や買い物にでかけている。また、月1回の外食はご利用者の希望に沿った所へと心掛けている。ホームの畑や花の水遣りはご利用者が自由に行き来されるのを見守っています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族とご利用者の外出、外泊はご希望に合わせて自由に行って頂いている。事業所では、マイクロバスを借り、観劇、藤見物など、車で1時間半前後と体調に無理の無いように配慮した計画で、外出支援をしている。	○	今年は、ご利用に「本物」を味わい、体感して頂くを目標の1つに挙げている。そのため、少し遠方にも出掛ける企画を検討中。また、ご家族にも一緒に参加していただけるようお願いしている。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族への電話希望があればつど対応している。また、ご家族からの電話にも出ていただきお話ししていただいている。要望や促しにより年賀状や、手紙の投函の支援を実施している。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問者には常に「いつでもおこしく下さい」と言葉かけし、訪問しやすいよう、また、特別な気遣いをいただかないよう心がけている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関わる法人マニュアルがあり、常に職員間で拘束、虚待、暴力が行われていないか注意し、気づかないうちの言葉での拘束、暴力、虚待にも敏感であるよう努めている。		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>運営推進会議、ボランティアの方々を通すなど、災害時の協力を得られるよう検討していきたい。</p>


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている		ご利用者の健康、生活方針については、本人、ご家族の意向を常に確認し、ホームの対応に反映させている。また、「近況報告書」を中心に、ご利用者の現状をご家族様に正直に伝え、そのリスクの可能性についても説明して同意が得られるよう情報提供している。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている		体調変化に関しては、利用者様のバイタルチェック、意識障害有無、表情の変化を観察し、生活相談員、他の職員と連携、必要に応じて特別養護老人ホームの介護長、看護師に相談し対応。夜勤時は、隣接施設の宿直者へ連絡、応援の要請、保健師、生活相談員、施設長へ報告し対応している。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている		薬剤の処方箋はケースに保管、どの職員も確認できる。処方箋が変わった場合は申し送り、申し送りノートに記載して、情報の共有に努めている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる		毎日、排泄チェック表にて確認。ご本人の訴えに耳を傾け、入浴の際の観察や、食事摂取状況も気をつけている。便秘の訴えのある方には、ご家族、主治医に相談している。また、水分摂取、バナナや食物繊維の多い野菜の摂取、運動の奨励、散歩等で身体を動かして予防に努めている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている		毎食後、ご利用者の身体能力に合わせて、口腔ケアの援助しています。2名は自立、自己管理ですが、見守り、確認している。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		体重増加の防止、水分量の確保など、ご利用者の個々の状態に応じた対応に努めている。

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	便汚染、出血、嘔吐等に際しては、使い捨ての手袋使用、液体を利用した消毒剤による消毒等の実践。殺菌作用のある液体を利用した加湿器の使用をしている。また、保健所主催の感染症対策講座に参加し、周知に努めている。外来者にも、手指消毒に協力頂いている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	台ふきやふきんは毎日殺菌消毒、キッチン専用の手洗い用タオルは毎日別途洗濯している。ペーパータオルの使用、液体消毒剤による手指消毒している。食器類は使用后、食器乾燥機で乾燥殺菌し保管している。料理されたものは、使いきりで後には残さない。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	地域の方や保育園児などが出入りしやすいよう金魚や鶏を飼ったり、四季の花を移植したり、プランターの花でホーム周辺を飾っている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルの上には花が絶えないようにしている。食事には食材に季節感と、行事食を沢山とりいれている。お風呂には入浴剤、しょうぶ湯、ゆず湯など季節感をとりいれている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間や食堂で他利用者と過ごしたり自室で本を読まれるなど使い分けて過ごしています。共有空間にある畳コーナーで横になられたり、玄関先の椅子に座られのんびり過ごされる時もある。		

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	○	<p>ご利用者の自己決定が、職員のパターンナリズムにならないように努めていきたい。</p>
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		<p>「虹の小道」はご利用者の散歩コースである。鶏小屋や池があり、また、デイサービスや保育園への行き来が短縮され、交流がよりいっそう楽になり、楽しみも増えました。ご利用者とは花の植樹や野菜の成長や収穫に喜怒哀楽している。また、7羽の鶏の世話や卵をとりに行く事を楽しみにしている。</p>

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県. さわやかグループホーム川辺

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当グループホームでは、職員の教育にも多方面から情報を入手し、また、職員の要望に応じて可能な限り勤務体制を調整、研修参加を応援している。例えば、法人内で組織された研修委員会で行われている新人研修、中堅研修、リーダー研修、また、岐阜県福祉総合相談センター、社会福祉協議会等主催の研修事業への参加、川辺エリアで行われているサークル活動、介護福祉士受験サークルなど、教育をうける機会を造りだしている。また、地域の住民の皆様であるボランティア活動も積極的に取り入れている。ボランティアの中には、活動以外の時にも、ホームへ足を運んで下さる方も見られるようになってきている。また、総合福祉施設の特質を生かし、特別養護老人ホーム、デイサービスのレクリエーション活動、ボランティア活動への参加、保育園訪問、保育園児との交流、川辺町「やすらぎの家」の訪問など、ご利用者には『一期一会』の機会をなるべく多く体験していただけるよう、毎月盛りだくさんの行事参加にこころがけています。また、今年は、ご利用者に「本物」を味わっていただくことを目標の一つに挙げ、その時、その場所でしか味わえない外出の機会を作ろうと努力している。そして、ご家族参加の行事も多く取り入れていきたいと思っている。ご利用者がその人らしく安心して暮らせるグループホームの構築を目指し、誰でもが訪れ心安らぐホーム作り、いつでも来ていただけるホーム作りを創造しています。